

請 願 書

請願番号	第 6 号	受理年月日	令和6年12月2日
請 願 者	住 所 ○○○○○○○○○○○ 代表者 上尾社会保障をよくする会 森 幸一		
紹介議員	島津 秋男、新藤 孝子、海老原 直矢		
付託委員会	健康福祉常任委員会	結 果	採択

1 件 名 帯状疱疹ワクチン接種への助成に関する請願

2 要 旨 帯状疱疹は、過去に水痘に罹患した方が、加齢や過労、ストレスなどを原因とした免疫力の低下により、体内に潜伏する水痘・帯状疱疹ウイルスが再燃することなどで発症するものである。

この帯状疱疹の発症予防のためには、ワクチンが有効とされているが、接種料金が1万円から6万円と高額である。

物価高で生活も大変なことから接種をあきらめる人が少なくない。桶川市・北本市・伊奈町など近隣市町は、すでに助成を実施している。

すでに、国も「帯状疱疹」のワクチンについて、厚生労働省は接種費用を公費で補助する「定期接種」に含める方針を決め、接種の対象年齢などについて議論を進めている。

上尾市は、「スポーツ健康都市宣言」のまちでもあり、接種の助成制度は、市民の切実な願いである。

上尾市独自として、早急に制度をつくることを要望する。

3 理 由 50歳から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、治療が長引くケースや後遺症が残るケースもある。

例えば、帯状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く帯状疱疹後神経痛、難聴等がおきて、目や耳に障害が残ることもあるといわれている。助成があれば、接種を受けたくても、受けられなかった人も安心して受けられる。

市民の健康な日常生活を保障してほしい。